

平成28年第1回竜王町議会定例会（第5号）

平成28年3月24日

午後1時00分開議

於 議 場

1 議 事 日 程

- 日程第 1 発委第1号 竜王町議会委員会条例の一部を改正する条例
- 日程第 2 議第34号 平成27年度竜王町一般会計補正予算（第7号）
- 日程第 3 議第25号 平成28年度竜王町一般会計予算
（予算第1特別委員会委員長報告）
- 日程第 4 議第26号 平成28年度竜王町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算
（予算第2特別委員会委員長報告）
- 日程第 5 議第27号 平成28年度竜王町国民健康保険事業特別会計（施設勘定）予算
（予算第2特別委員会委員長報告）
- 日程第 6 議第28号 平成28年度竜王町学校給食事業特別会計予算
（予算第2特別委員会委員長報告）
- 日程第 7 議第29号 平成28年度竜王町下水道事業特別会計予算
（予算第2特別委員会委員長報告）
- 日程第 8 議第30号 平成28年度竜王町介護保険特別会計予算
（予算第2特別委員会委員長報告）
- 日程第 9 議第31号 平成28年度竜王町後期高齢者医療特別会計予算
（予算第2特別委員会委員長報告）
- 日程第10 議第32号 平成28年度竜王町水道事業会計予算
（予算第2特別委員会委員長報告）
- 日程第11 請第 1号 TPP（環太平洋連携協定）交渉に関する意見書を求める
請願
（総務産業建設常任委員会委員長報告）
- 日程第12 意見書第1号 TPP（環太平洋連携協定）交渉に関する意見書
- 日程第13 議会広報特別委員会委員長報告
- 日程第14 地域活性化特別委員会委員長報告
- 日程第15 人口減少対策特別委員会委員長報告

日程第 1 6 所管事務調査報告

(議会運営委員会委員長報告)

(総務産業建設常任委員会委員長報告)

(教育民生常任委員会委員長報告)

日程第 1 7 議員派遣について

日程第 1 8 委員会の閉会中の継続審査の申出について

日程第 1 9 委員会の閉会中の継続調査の申出について

2 会議に出席した議員（12名）

1番	貴多正幸	2番	小西久次
3番	若井猛志	4番	森島芳男
5番	森山敏夫	6番	内山英作
7番	松浦博	8番	古株克彦
9番	菱田三男	10番	山田義明
11番	岡山富男	12番	小森重剛

3 会議に欠席した議員（なし）

4 地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者

町長	竹山秀雄	副町長	川部治夫
教育長	岡谷ふさ子	総務主監兼 産業振興課長	杼木栄司
会計管理者	犬井教子	政策推進課長	関司明德
総務課長	奥浩市	税務課長	田邊正俊
生活安全課長	井口清幸	住民課長	知禿雅仁
福祉課長	嶋林さちこ	健康推進課長	中寫幸作
発達支援課長	木戸妙子	農業委員会事務局長	竹内修
建設計画課長	井口和人	上下水道課長	徳谷則一
工業団地推進課長	尾崎康人	教育次長	松瀬徳之助
学務課長	重森義一	生涯学習課長	西川良浩

5 職務のため議場に出席した者

議会事務局長	若井政彦	書記	寺本育美
--------	------	----	------

開議 午後1時00分

○議長（小森重剛） 皆さん、こんにちは。

ただいまの出席議員数は、12人であります。よって、定足数に達していますので、これより平成28年第1回竜王町議会定例会を再開いたします。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

これより、議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第1 発委第1号 竜王町議会委員会条例の一部を改正する条例**

○議長（小森重剛） 日程第1 発委第1号を議題といたします。

提出理由の説明を求めます。

提出者、議会運営委員会委員長、菱田三男議員。

9番、菱田三男議員。

○議会運営委員会委員長（菱田三男） 竜王町議会委員会条例の一部を改正する条例について、提出理由を申し述べます。

町行政組織機構の見直しが4月1日から実施されることにより、常任委員会の所属する課が変更になることから、竜王町議会委員会条例の一部を改正するものです。

○議長（小森重剛） 以上で提出理由の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。

日程第1 発委第1号を原案のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第1 発委第1号は原案のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 議第34号 平成27年度竜王町一般会計補正予算（第7号）

○議長（小森重剛） 日程第2 議第34号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

竹山町長。

○町長（竹山秀雄） ただいま上程いただきました議第34号につきまして、提案理由を申し上げます。

議第34号 平成27年度竜王町一般会計補正予算（第7号）につきましては、現在お認めをいただいております補正予算（第6号）までの歳入歳出予算額が、61億4,866万6,000円でございます。

今回、この総額に歳入歳出それぞれ4,430万円を追加し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ61億9,296万6,000円とさせていただくものでございます。これは、国の平成27年度補正予算により位置づけられた地方創生加速化交付金を活用し、本町のまち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけた事業に取り組むためのものでございます。

内容といたしましては、竜王町青年団を核として、町内在住者のみならず、町内事業所への就労者等の交流の機会の創出、若い世代を中心とした活動や交流の活性化により、定住促進や結婚、子育て支援などにつなげることを目的とした若者交竜事業と全国に誇れる近江牛発祥の地である本町が、近江牛を基軸に、生産者を初め、企業、関係組織、行政等が連携を図り、特産品全体のブランド化、インバウンドを含む来訪者への発信、地域内連携による6次産業化の推進等を図る竜王近江牛等特産品発信事業でございます。

それぞれの事業の内容といたしまして、若者交竜事業では、事業全体の調整、企画、運営等を担っていただく、若者コーディネーター報償費199万2,000円及び若者交竜推進員報償費100万円、本事業の周知を図るためのパンフレット印刷等、需用費として160万円、交流事業の運営に係る若者交竜コーディネーター事業委託料160万8,000円、将来、若者交流の拠点として活用するための、若者交竜拠点施設整備基本設計業務委託料300万円、住宅整備に関する可能性を探るための若者定住化住宅整備可能性調査委託料300万円、また、会議、企画等の経費に充てる若者交竜R SNS会、これはリアル・ソーシャル・ネットワークの意でございます、R SNS会議補助金350万円の所要額の追加でございます。

続きまして、竜王近江牛等特産品発信事業では、事業全体の調整等、全般的な

取り組みを行う支援員への報償費500万円、事務消耗品及び周知を図るための印刷経費等、需用費として110万円、また、推進組織の立ち上げ及び町観光分野の調査分析等に係る推進組織活動支援事業委託料300万円、販路開拓、農産物及び加工品の研究、野菜ソムリエ等の食関係資格者養成に係る6次産業化等調査研究事業委託料300万円、町外から新たな観光客を呼び込む手法として、効果的な情報を発信するための竜王近江牛等特産品発信事業委託料200万円でございます。また、道の駅アグリパーク竜王内の田園資料館を本事業の拠点とするための田園資料館改修工事設計業務委託料200万円及び田園資料館改修工事800万円、農産物加工品の研究等に関連する備品購入経費としての特産品開発調査研究備品150万円、近江牛をテーマとした情報を町内外へ発信するイベント開催として、竜王近江牛等特産品発信イベント開催事業補助金300万円の所要額の追加でございます。

続きまして、歳入補正予算の内容につきましては、1つ目の国庫支出金につきましましては地方創生加速化交付金4,410万円を、また2つ目の財政調整基金繰入金20万円を財源とするものでございます。

さらに、これら事業につきましては、本格的な事業実施を翌年度に繰り越して執行させていただきたく、それぞれの事業につきまして繰越明許の措置をお願いするものでございます。

以上、議第34号につきまして提案理由を申し上げましたので、よろしく御審議を賜り、御承認をいただきますようお願い申し上げます、提案理由といたします。よろしくお願い申し上げます。

○議長（小森重剛） 提案理由の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。

日程第2 議第34号を原案のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第2 議第34号は原案のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第 3 議第 25号 平成28年度竜王町一般会計予算  
(予算第1特別委員会委員長報告)**

○町長（竹山秀雄） 日程第3 議第25号を議題といたします。

本案は予算第1特別委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。

予算第1特別委員会委員長、若井猛志議員。

3番、若井猛志議員。

○予算第1特別委員会委員長（若井猛志） 議第25号、予算第1特別委員会報告。

平成28年3月24日

委員長 若井 猛志

去る3月4日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました議第25号、平成28年度竜王町一般会計予算について、審査の経過と結果について報告いたします。

本委員会は、3月9日、10日の両日、第1委員会室において委員全員出席のもと、竹山町長、川部副町長、岡谷教育長、杼木総務主監、松瀬教育次長、担当課長及び関係職員の出席を求め、説明を受け、審査いたしました。

平成28年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ62億4,100万円で、前年度に比べ1億3,400万円の増、率にして2.2%の増となっています。

前年度当初予算に比べて増加した主な要因は、道路新設改良費3,135万6,000円、滋賀竜王工業団地造成に係る事業費を3,800万円減少した一方で、ふるさと納税推進費4,098万2,000円、保育所運営費2,292万1,000円、障害者福祉サービスに係る自立支援給付費4,400万円など増加したことなどによるものです。

歳入の主なものは、町税では7.8%の減少で、個人町民税、法人町民税とも減少となっています。法人町民税については42.3%の大幅な減少となっています。地方交付税については1億5,200万円、660%増の見込みとなっています。国・県の支出金は13億円余りが見込まれていますが、不足する分については財政調整基金より2億5,714万5,000円の基金取り崩し等を行うこととともに、町債3億5,820万円を計上しています。

このことにより、基金全体の残高は年度末で14億円余りとなり、うち財政調整基金は4,000万円と大幅に減少する見込みです。地方債の残高については、年度末で46億6,000万円余りになる見込みです。

次に、歳出の主なものは、土木費で竜王インター周辺地区整備費8億1,390万円や民生費で保育所運営費2億2,144万7,000円、国保や介護保険など特別会計への繰り出し、自立支援給付費の増加や農林水産業費の日野川土地改良事業費の増加、衛生費では中部清掃組合や八日市布引ライフ組合の負担金が増加しました。新規事業としては、子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業に398万9,000円、子育て支援における利用者支援事業に405万8,000円、墓地緑化等環境整備モデル事業に1,195万円、畜産競争力強化対策整備事業に1億2,195万3,000円、スーサー・マリー市中学生交流受入事業に101万7,000円等予算化されております。

その他債務負担行為として、八日市布引ライフ組合負担金、地域福祉計画策定業務、高齢者保健福祉計画策定業務、健康いきいき竜王21プラン策定業務、竜王インター周辺地区整備事業等の限度額の設定であります。

地方債については、防災安全に係る社会資本整備事業、農林公園施設に係る社会資本整備事業等についての限度額の設定です。

委員会での主な質疑応答は次のとおりです。

問) 公用バスについてはどうしようとしているのか。答) 福祉バスを廃止して1台にしたが、購入がよいのか、借り上げがよいのか、難しいところです。年数も来ているが、課題も見ながら考えていきます。

問) 基金が枯渇してきているが、突発的なことがあればどのように対応するのか。答) 平成28年度の予算の執行においてさらに精査する中で、一層効率的な執行に努め、必要な財源の確保に努めるとともに、町財政の弾力性の確保に向けて、各事務事業の評価見直しを積極的に実施します。また、各特定目的基金について、増加する公共施設の維持管理経費へ充当するため、また、これにより単に基金を消化することがないように平成26年度予算から10年間でこの分を積み立てていく手法をとっています。

問) 防災センターのスクリーンの更新は。答) 現状は月15回ぐらい利用していますが、かなり古くなっており、新しくすると数百万円かかります。移動式でプロジェクターも含め、防災センターに合った大きさのスクリーンで考えています。

問) 公共交通のあり方について、今後どのように考えているのか。答) 近江八幡市は岡屋線は廃止したいと言っているが、廃止することはできません。滋賀竜王工業団地への路線の検討も含め、考えていく必要があります。

問) 農林公園のトイレ設置工事は1,800万円と高額であるが、どれぐらいの規模か。答) 現有施設と同程度を考えています。

委員会での主な意見は、町税の滞納整理については努力されているが、適正に処理されるよう、さらに努力をいただきたい。町有地について、地図訂正、登記業務等土地を確定するための予算が盛り込まれているが、計画を持ち、迅速に進めていただきたい。6町クラウドで経費削減ができると言われているが、制度が変わるたびにシステムの改修に大きな予算が計上されている。今後、いろんな分野で共通して利用できるように検討いただきたい。厳しい財政事情の中で編成された予算であることから、より適正かつ有効な執行と、健全な財政運営に努められたい。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で原案どおり可決すべきものと決しましたので報告いたします。

**○議長(小森重剛)** ただいま、予算第1特別委員会委員長より、審査の経過と結果の報告がございました。

これより、委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長(小森重剛)** ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより、討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長(小森重剛)** ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより、採決を行います。日程第3 議第25号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

**○議長(小森重剛)** 起立全員であります。よって、日程第3 議第25号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第 4 議第26号 平成28年度竜王町国民健康保険事業特別会計(事業勘定) 予算

(予算第2特別委員会委員長報告)

日程第 5 議第 27 号 平成 28 年度竜王町国民健康保険事業特別会計（施設勘定）予算

（予算第 2 特別委員会委員長報告）

日程第 6 議第 28 号 平成 28 年度竜王町学校給食事業特別会計予算

（予算第 2 特別委員会委員長報告）

日程第 7 議第 29 号 平成 28 年度竜王町下水道事業特別会計予算

（予算第 2 特別委員会委員長報告）

日程第 8 議第 30 号 平成 28 年度竜王町介護保険特別会計予算

（予算第 2 特別委員会委員長報告）

日程第 9 議第 31 号 平成 28 年度竜王町後期高齢者医療特別会計予算

（予算第 2 特別委員会委員長報告）

日程第 10 議第 32 号 平成 28 年度竜王町水道事業会計予算

（予算第 2 特別委員会委員長報告）

○議長（小森重剛） 日程第 4 議第 26 号から日程第 10 議第 32 号までの 7 議案を一括議題といたします。

本案は予算第 2 特別委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。

予算第 2 特別委員会委員長、森島芳男議員。

4 番、森島芳男議員。

○予算第 2 特別委員会委員長（森島芳男） 議第 26 号から議第 32 号、予算第 2 特別委員会報告。

平成 28 年 3 月 24 日

委員長 森島 芳男

去る 3 月 4 日の本会議におきまして、予算第 2 特別委員会に審査の付託を受けました議第 26 号から議第 32 号までの 7 議案、平成 28 年度竜王町特別会計 6 会計及び水道事業会計の予算について、審査の経過と結果を報告します。

本委員会は、去る 3 月 14 日午前 9 時から第 1 委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催しました。町執行部より竹山町長、川部副町長、桴木総務主監及び関係課長等の出席を求め、説明を受け、審査を行いました。

議第 26 号、平成 28 年度竜王町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算。

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ 12 億 9,030 万円で、前年度比較 70 万円の減額、率にして 0.1% の減となっています。

歳入の主なものは、国民健康保険税が2億5,633万7,000円、国庫支出金が1億9,686万4,000円、前期高齢者交付金が3億7,381万7,000円、共同事業交付金が2億4,847万円です。

歳出の主なものは、保険給付費が7億9,121万3,000円、共同事業拠出金が2億7,278万3,000円です。

主な質疑応答は、問)若年健康診査等委託料の対象者年齢と最近の年度別件数はどのようになっているか。答)対象年齢は19歳から39歳です。平成22年度から26年度までの実績の件数は、平成22年度54人、平成23年度56人、平成24年度60人、平成25年度77人、平成26年度72人です。

議第27号、平成28年度竜王町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)予算。

歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ、医科1,130万円で、前年度比較310万円の増額、率にして37.8%の増、歯科5,150万円で、前年度比較10万円の増額、率にして0.2%の増となっています。

医科では、歳出の主なものは、総務費が743万2,000円で、そのうち、委託料として医科診療所指定管理料が700万円です。また、医業費の医療用機械器具費が313万2,000円です。

歯科では、歳入の主なものは、診療収入が4,259万9,000円、歳出の主なものは、総務費が4,323万6,000円、医業費が793万8,000円です。

議第28号、平成28年度竜王町学校給食事業特別会計予算。

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ5,940万円で、前年度比較150万円の減額で、率にして2.5%の減となっています。

歳入の主なものは、給食費負担金が5,929万6,000円です。また、歳出は、給食事業費5,940万円で、うち給食にかかる資材費が5,895万9,000円です。

主な質疑応答は、問)地産地消で竜王町産の食材はどの程度使用しているか。答)野菜・米を中心に平均60%です。

議第29号、平成28年度竜王町下水道事業特別会計予算。

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ6億6,900万円で、前年度比較1,160万円の減額、率にして1.7%の減となっています。

歳入の主なものは、農業集落排水及び公共下水道の使用料が1億7,627万6,000円、一般会計繰入金が2億8,884万6,000円、下水道事業債

が1億9,970万円です。

歳出の主なものは、農業集落排水事業費が1,757万4,000円、下水道事業費が1億7,632万3,000円、公債費が4億7,460万3,000円です。

主な質疑応答は、問) 不明水対策調査委託料 912万1,000円が計上されているが、どの程度まで調査ができるのか。答) 煙による調査、宅内の誤接調査及び流量調査の3つの調査を実施します。

議第30号、平成28年度竜王町介護保険特別会計予算。

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ8億5,380万円で、前年度比較80万円の増額、率にして0.1%の増となっています。

歳入の主なものは、第1号被保険者保険料が2億552万2,000円、国庫支出金が1億8,363万6,000円、支払基金交付金が2億2,796万8,000円、繰入金が1億1,707万9,000円です。

歳出の主なものは、保険給付費の居宅介護サービス給付費が3億540万円、施設介護サービス給付費が2億5,000万円、地域密着型介護サービス給付費が1億5,000万円、また、新しい事業として、介護予防・生活支援サービス事業費が1,798万1,000円、包括的支援事業・任意事業費が2,465万7,000円です。

主な質疑応答は、問) 介護と介護予防に関して、1人の不幸も見逃さない福祉のセーフティネット、つまり、きめ細かな網は張られているか。特に、認知症問題と制度のはざまにおられる方に対する外出支援サービスについては網が張られているか。答) 地域の区長、民生委員、福祉委員、ボランティアの方々などが見守りをさせていただいており、地域包括支援センターや地区の担当保健師と必要な情報の共有を図り、きめ細かな対応をしています。外出支援については、NPO法人スマイルのサービスが中心ですが、そのほか介護タクシーや公共交通、家族の方による送迎等で対応をいただいています。

問) 生活支援体制整備事業費については、町社会福祉協議会の地域福祉コーディネーターが生活支援サービスのコーディネーターを兼務することになるが、業務が膨大にならないか。答) 地域福祉コーディネーターの業務と生活支援コーディネーターの業務が重なっている部分があります。既に担っていただいていることもありますが、業務が膨大にならないよう調整をいたします。

議第31号、平成28年度竜王町後期高齢者医療特別会計予算。

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ9,380万円で、前年度比較420万円の増額、率にして4.7%の増となっています。

歳入の主なものは、後期高齢者保険料が6,639万8,000円、一般会計繰入金が2,719万4,000円です。

歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金が9,235万6,000円です。

議第32号、平成28年度竜王町水道事業会計予算。

第2条関係の業務の予定量は、給水戸数が3,800戸で年間総配水量は164万立方メートル、1日平均給水量は4,300立方メートルです。

主な建設改良事業として、管路更新事業で2億5,860万2,000円が見込まれています。

第3条予算は、収益的収入の予定額が3億6,606万3,000円で、前年度比較80万5,000円の増額、率にして0.2%の増です。収益的支出の予定額は3億6,605万4,000円で、前年度比較671万1,000円の増額、率にして1.9%の増です。

収入の主なものは、営業収益が2億9,942万円、営業外収益が6,663万3,000円でそれぞれ前年度より増額となっています。

支出の主なものは、営業費用が3億5,077万6,000円、営業外費用が1,507万8,000円で、前年度より前者は増額、後者は減額となっています。

第4条予算は、資本的収入の予定額が1億4,080万円で、前年度比較79万3,000円の増額、率にして0.6%の増です。

資本的支出の予定額は2億8,510万5,000円で、前年度比較5,738万4,000円の増額、率にして25.2%の増です。主なものは、弓削地先基幹管路及び須恵・鏡での配水管等布設替工事などの改良事業費です。

以上、慎重審査の結果、議第26号から議第32号の7議案について、全員賛成で可決すべきものと決しましたので、ここに報告いたします。

○議長（小森重剛） ただいま、予算第2特別委員会委員長より、審査の経過と結果の報告がございました。

これより、委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより、討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより、採決を行います。採決は1議案ごとに行います。

日程第4 議第26号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第4 議第26号は委員長報告のとおり可決されました。

日程第5 議第27号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第5 議第27号は委員長報告のとおり可決されました。

日程第6 議第28号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第6 議第28号は委員長報告のとおり可決されました。

日程第7 議第29号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第7 議第29号は委員長報告のとおり可決されました。

日程第8 議第30号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第8 議第30号は委員長報告のとおり可決されました。

日程第9 議第31号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第9 議第31号は委員長報告のとおり可決されました。

日程第10 議第32号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第10 議第32号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第11 請第1号 TPP（環太平洋連携協定）交渉に関する意見書を求める  
請願**

**（総務産業建設常任委員会委員長報告）**

○議長（小森重剛） 日程第11 請第1号を議題といたします。

本案は、総務産業建設常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。

総務産業建設常任委員会委員長、古株克彦議員。

8番、古株克彦議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（古株克彦） 請第1号、総務産業建設常任委員会報告。

平成28年3月24日

委員長 古株 克彦

去る3月4日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました、請第1号「TPP（環太平洋連携協定）交渉に関する意見書を求める請願」について、審査の経過と結果を報告します。

本委員会は、3月7日午後1時より第1委員会室において、委員全員出席のもと会議を開き、請願者、滋賀県東近江市八日市町1-17 グリーン近江農業協同組合 経営役員会会長三井久雄氏ほか2名の請願書について、紹介議員の森島芳男議員より上程があり、JA滋賀中央会農業対策部部長雲林院智史氏ほか1名から説明を受けて審査いたしました。

請願の主な内容。

平成27年10月5日、米国・アトランタで開催されたTPP閣僚会議において、TPP交渉は大筋合意に至った。

その内容は、農林水産物の重要5品目への特別輸入枠の設定や段階的な関税削

減・撤廃となっており、国会決議の内容を逸脱しているとの懸念がある中、生産現場には不安の声が広がっている。

また、TPPは、単に農業問題だけではなく、食の安全・安心、医療、保険、ISD条項など、国民の生活の根本に大きな不安を抱かせるとともに、国や地域の人たちを大きく変える重要な内容を含んでいる。

については、農業者のみならず、消費者など広く国民に対してTPP交渉の合意内容に関する情報を公開するとともに、TPPの合意内容について国会決議が遵守されているか厳格に精査し、TPPの影響に関する農業者の不安を払拭するための万全な国内対策を講じるよう強く求め、地方自治法第99条の規定による意見書を国に対して提出するよう要請するものです。

以上、請願内容を慎重審査の結果、全員賛成で採択すべきものと決しましたので報告いたします。

**○議長（小森重剛）** ただいま、総務産業建設常任委員会委員長より、審査の経過と結果の報告がございました。

これより、委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

3番、若井猛志議員。

**○3番（若井猛志）** 今述べられましたTPPに対する請願の趣旨はよくわかりませんが、3点について委員長にお尋ねいたします。

一番初めに書いております、「大筋合意されたが」というふうに書かれておりますが、この意味合いはどのようなふうなものなのでしょうか。大筋合意ですから、もっと詳細な合意があるのかということですね。

2番目には、請願の中には、豚とか牛のマルキンという表現で法制化するように求められておりましたが、この部分が報告の中ではありませんでした。これが抜けても差し支えはないと思うんですけども、このマルキンが発動された場合には、畜産農家の皆さんにはどの程度の補償がされるのでしょうか。

3点目にお聞きしたいのは、この中にも書かれておりますように、ISD、ISDSとも言われておりますけれども、この条項が発令されるような事態というのはどういうときにあるのでしょうか。

以上、3点についてお尋ねいたします。

**○議長（小森重剛）** 10番、山田議員。

**○10番（山田義明）** 今回の件につきましては、暫時休憩をお願いしたいと思います。

○議長（小森重剛） 休憩動議が出ましたが、御異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（小森重剛） この際、申し上げます。ここで午後2時10分まで暫時休憩いたします。

休憩 午後1時51分

再開 午後2時10分

○議長（小森重剛） 休憩前に引き続き会議を開きます。

総務産業建設常任委員会委員長、古株克彦議員。

8番、古株克彦議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（古株克彦） 請第1号、TPP（環太平洋連携協定）交渉に関する意見書を求める請願についての、先ほど若井議員より質問がございました3点について、わかる範囲で回答させていただきます。

1つ目の大筋合意とは何なのかということなんでございますが、あくまでも大筋です。事細かなことについてはまだ合意には至ってないんですけど、大筋合意の概要について、我が国の全品目、農林水産物・鉱工業品の関税撤廃率は95%、農林水産物の関税撤廃率は81%、農林水産物の重要五品目を中心に国家貿易制度や枠外税率の維持、関税割当やセーフガードの創設、長期の関税削減期間の確保等の有効な処置を獲得した。これが大筋合意の内容でございます。

資料をいただいておりますけど、説明は受けておりませんし、これ以上の説明は1時間以上かかりますので省かせていただきます。大筋合意の内容についてのみ。

次に2つ目の、マルキンについての御質問がございました。これは、滋賀県の試算では生産額の40億円減と出ております。その一応80%を補償するというふうな、実際に損害が出た場合のね、そういうふうな内容でございますけど、これもまだまだ国会審議中でございますので、これからの話になると思います。

次に、3つ目のISD条項についてですが、ISD条項などということ、ISD条項とはどういうことかというのが、我々も十分理解はしてないところがありますけども、ISD条項については、多国間における企業、投資家と政府との賠償を求める紛争の方法を定めた条項の略語です。ISDというのは、「Investor State Dispute Settlement」の略語がISDSとも言われています。日本語では、投資家対国の紛争解決条項などと訳されています。主に自由貿易協定（FTA）を結んだ国同士において、規制などにより企業や投資家が損害をこうむったときに賠償を求める場合の手続方法として

いるが、そのほかさまざまなケースで同条項をもとにした仲裁がなされています。  
というような内容で、過去TPP、こういった締結に対して問題視される要因の  
1つとして取り上げておられますということです。

以上、3つの御質問に対して、不十分だと思いますけども、我々、請願人さん  
の内容の趣旨にとって請願を挙げておりますので、それ以上の深い内容について  
は我々委員会としてはそこまでも討論もしておりませんので、申し上げるとする  
と私見になりますので、当委員会としては今のわかる範囲の内容、逸脱してない  
内容で請願人の趣旨に沿った形の委員長の回答とさせていただきます。

以上です。

○議長（小森重剛） 3番、若井議員。

○3番（若井猛志） 今の説明で概略は了解いたしました。終わります。

○議長（小森重剛） ほかに質疑はありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。こ  
れより討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。

日程第11 請第1号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を  
求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立多数であります。よって、日程第11 請第1号は委員  
長報告のとおり採択することに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第12 意見書第1号 TPP（環太平洋連携協定）交渉に関する意見書

○議長（小森重剛） 日程第12 意見書第1号を議題といたします。

提出者の説明を求めます。

総務産業建設常任委員会委員長、古株克彦議員。

8番、古株克彦議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（古株克彦） TPP（環太平洋連携協定）交渉
に関する意見書。

意見書の内容については、お手元の配付のとおりでございます。

内閣総理大臣、財務大臣、外務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣宛てに提出させていただきます。

提出理由について申し上げます。

10月5日、米国・アトランタで開催されていたTPP閣僚会合において、TPP交渉は大筋合意に至ったが、その内容は国会決議の内容を逸脱しているとの懸念がある中、生産現場には不安の声が広がっている。また、TPPは単に農業問題だけでなく、食の安全・安心、医療、保険、ISD条項など、国民の生活の根本に大きな不安を抱かせるとともに、国や地域の形を大きく変える重要な内容を含んでいる。

については、農業者のみならず、消費者など広く国民に対してTPP交渉の合意内容に関する情報を公開するとともに、TPPの合意内容について国会決議が遵守できているか厳格に精査し、TPPの影響に関する農業者の不安を払拭するための万全な国内対策を講じるよう強く求めるため、地方自治法第99条の規定により意見書を提出するものです。

以上です。

○議長（小森重剛） 提出者の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

3番、若井猛志議員。

○3番（若井猛志） 今、挙げられました意見書に対する意見を述べさせていただきます。

きょうの国会の中でも、このTPP問題に対する特別委員会が設置されようというふうなことが報道されていますが、このTPPの問題につきましては、この5年間ほどの間にかなり多くの方の反対が広がってまいりました。

農業の問題で一番大きな問題を受けようとする北海道では、JAの組合長さんの8割が、この問題は国会決議に明らかに違反している、こういうふうにと述べておられますし、農協さんの発行しておられます日本農業新聞のアンケートでも、全国の8割の組合長さんが、やはり同じような意見を持っておられます。

この竜王町の議会でも、2012年4月22日に滋賀県で、「TPPから県民のいのちと暮らし／医療と食を守る県民会議」というのが発足されましたが、前

期のこの議員さんの中で、私ら新人4人を除きますと、3分の2の議員さんがTPPに反対する活動に参加しておられました。滋賀県全県で217団体が集まって、TPPを阻止しようということで、この間、運動してきたわけであります。

私も農業委員をやっております立場で、この問題についてはTPPに入るなどか、あるいは、大筋合意が結ばれた後も、TPP交渉から撤退せよというふうな意見を述べさせてもらいましたが、今この意見書の中で国会決議が遵守できているか厳格に精査し、というふうになっておりますが、これはどの識者が見ましても、やっぱり国会決議に反しているというのが今の現状の状況であります。

先ほど委員長が報告されました重要5品目の中の関税品目でも、586品目の細目の中で、3割が既に関税撤廃、こういうことが言われているわけです。どこから見てもやはり国会決議には反している。今やるべきことは、この国会決議を守れということと、守れていなければ批准をするなどということでないかと思いません。

最近、新聞で報道されておりますが、アメリカから既に20頭分の牛肉が輸入されて入札にかけられました。2,000円から3,000円ぐらいです。これは、1キロです。100グラムじゃないんですね。こういうふうな状況になるんです。米の場合もどうか。今、関税がかかっておりますから九千何ぼかの値段になっておりますが、これがTPPが批准されて流通するようになると、一俵4,000円が入ってくる。こういうふうな状況が行われるわけですね。

まして、今の国会の予算の中でも、竜王町でも今回の予算に上げられました畜産クラスター、ああいうのもやっぱり国では600億円かけてクラスター計画を推進しているわけですが、あれはやはりTPP関連予算なんですね。

もちろんTPPに影響する農業者の不安を払拭するために、万全な国内対策というふうになっておりますが、それは仮に批准された場合の話であって、それはそのときに考えていけばいいと思うんです。

今やるべきことは、やはりTPPからの撤退、あるいは、国会決議の遵守をせよということだと思えます。その意味では、私は別にJAさんに反対するわけではないですけども、この間一緒にJAさんの、滋賀の中央会の方々ともこのTPP反対の行動を一緒にしてきましたけれども、やはりその部分が抜けているのではないかというふうに考えます。

グリーン近江で出されている「ぐりんぴーす」という毎月来る雑誌がありますが、ことしの1月号で、この請願者の1人であります三井経営委員会の会長、あ

るいは、岸本理事長が共同で挨拶されている中で、T P Pに反対してきた人も組織防衛に傾き、現状を受け入れ、条件闘争に陥っている人もいます。しかし、国会決議と整合するとの根拠は示されない限り、批准は許されない、こういうふうに述べておられるんです。実際、三井会長のところに行って確認してまいりましたが、やはりその気持ちは今でも変わらないと。こういうふうに言っておられます。

そういう意味からいいましても、ここの厳格に精査し、できていなければ批准をやめよという部分があれば賛成する立場であったんですけども、その部分がないためにちょっと反対するというような討論になってしまいましたが、以上の立場で討論は終わらせてもらいます。

○議長（小森重剛） ほかに討論はありませんか。

2番、小西久次議員。

○2番（小西久次） 私はT P P（環太平洋連携協定）交渉に関する意見書に対して、賛成の討論をいたします。

昨年10月5日にT P P交渉が大筋合意に至ったことについては、政府が粘り強く交渉に臨んでいただいた結果、米など重要5品目を中心に関税撤廃の例外に加えて、セーフガードの確保など有効な措置も獲得されたと報道されています。私たち農業者の中には、依然として農業経営に甚大な影響が及ぶのではないかと懸念が多くあります。

一方、あるいは、意欲のある担い手とか、農地の集積・集約をする中で、農業の競争力を強化しながら、高品質な農産物を生産する技術にさらなる磨きをかけるということで、海外からの農産物との競争だけでなく、ピンチをチャンスに変えるというふうなことも発想で、やはり海外市場にも積極的に進出することが必要であるというふうに考えます。

そうした中から、T P Pは大筋合意に至りましたけれども、やはり今でも生産現場の中にも不安の声は広がっております。

今言いましたけど、T P Pは単に農業問題だけでなく、食の安全・安心、医療、保険等の国民生活に大きな不安を抱かせるとともに、地域の形を大きく変える重要な内容であります。

先ほども申されましたけれども、反対討論の中にもありましたけれども、T P Pの国会審議も、新聞を見ますと、きょうから7月まで議論されるというふうに書いております。そういう中で、やはり特別委員会も設置され、その中で審議は

想定されますけれども、やはりこのことから早期に意見書を提出することが重要であると考えます。

幅広く消費者等国民に対しまして、合意内容を公開する必要があるとここに書いております。また、これを順守できるか厳格に精査することが明記されております。この不安払しょくのために、万全な国内対策を実施することも明記されております。今言いました意見書の中に、2点が明記されております。この意見書を早期に提出することが重要だと考えております。

以上のことから、この意見書に対しまして賛成する討論でございます。

○議長（小森重剛） ほかに討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより、採決を行います。日程第12 意見書第1号を原案のとおり提出することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立多数であります。よって、日程第12 意見書第1号は原案のとおり提出することに決定されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

### 日程第13 議会広報特別委員会委員長報告

○議長（小森重剛） 日程第13 議会広報特別委員会委員長報告を議題といたします。

議会広報特別委員会委員長、森山敏夫議員。

5番、森山敏夫議員。

○議会広報特別委員会委員長（森山敏夫） 議会広報特別委員会報告。

平成28年3月24日

委員長 森山 敏夫

本委員会は、平成27年第4回定例会閉会後の12月25日、1月7日、14日、20日、委員全員出席のもと、1月22日正副委員長出席のもと委員会を開催し、議会だより174号の編集作業をし、2月1日に発行しました。

次に、本委員会は、去る2月29日、滋賀県町村議会議長会主催の町議会広報研修会に委員6名が参加し、議会広報サポーター芳野政明氏による「「伝える」広報から「伝わる」広報へ」と題した講演を聞くとともに、議会広報クリニックを受け、広報編集技術のレベルアップを図る機会としました。

次に、本委員会は、本定例会中の3月4日午後2時5分より、委員全員出席のもと委員会を開催し、先の研修会の内容を踏まえて紙面のレベルアップについて協議・検討を行った後、議会だより第175号について、掲載記事の概要検討と役割分担を決めました。

議会だより第175号は、平成28年第1回定例会の内容を中心に、平成28年度予算、委員会活動報告、一般質問、シリーズいきいき人生などで18ページにまとめ、5月1日に発行することになりました。

なお、今後の本委員会の開催日程につきましては、3月29日、4月6日、13日、20日と決定しました。

また、福岡県柳川市議会から議会広報の編集についての視察研修の申し入れがあり、議会運営委員会での協議の結果、この申し入れを受諾し、4月20日午後1時に当委員会で受け入れることを決定しました。

以上、議会広報特別委員会報告といたします。

**○議長（小森重剛）** ただいまの議会広報特別委員会委員長報告に対して、質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** ないようでありますので、議会広報特別委員会委員長報告はこれで終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第14 地域活性化特別委員会委員長報告

○議長（小森重剛） 日程第14 地域活性化特別委員会委員長報告を議題といたします。

地域活性化特別委員会委員長、岡山富男議員。

11番、岡山富男議員。

○地域活性化特別委員会委員長（岡山富男） 地域活性化特別委員会報告。

平成28年3月24日

委員長 岡山 富男

本委員会は、3月17日午後1時より委員全員出席のもと、町執行部より竹山町長、梶木総務主監及び関係課長などの出席を求め、所管事務調査を行いました。

(1) 滋賀竜王工業団地の進捗状況について。

工事については、平成28年度末の完了を目指し、順調に進んでいるとのことでした。

企業誘致活動については、昨年11月から本年2月にかけて東京でのびわこ立地フォーラムへ参加したほか、名古屋・大阪での滋賀竜王工業団地立地セミナーを滋賀県土地開発公社、滋賀県とともに開催。また、その他誘致活動では、現地視察に来られたのが3社、個別に訪問を行ったのが4社とのことです。

今後も滋賀県、竜王町が協力し、引き続き誘致活動を行うとの説明を受けました。

主な質疑応答。

問) 1区画は決定したが、あとの6区画についての進出希望企業はあるのか。

答) 県と一体となって誘致を進めていきます。来年度中には、1社が契約ができるように努力していきます。残りの区画についても数社問い合わせがあり、また、現地を見に来られている企業もあります。

(2) 株式会社雪国まいたけについて。

山面建設委員会に対し、農工計画の変更と計画期間の延長を実施する方針の説明を行ったこと、また、県農政課との変更協議を行ったことについて報告がありました。

農工計画の変更点。

1、現在の土地を4つの区画に分割する。また、これに伴い、導入業種を食品製造業のみから、工業・道路貨物運送業・倉庫業・こん包業及び卸売業に拡大する。

2、計画終期を平成28年3月31日までから平成31年3月31日まで変更。

主な質疑応答。

問) 今の状態では、農工計画変更後の3年前と変わっていないが、株式会社雪

国まいたけが契約などした企業はあるのか。答) 契約までは至っていないが、平成28年11月には土地が欲しいという企業が1社あるようです。

(3) 住宅整備について。

鵜川と須恵の町有地については、住宅として活用できるように条件整備を行う。

山之上地区では、町道殿山線の拡幅工事を第1工事と第2工事に分けて行うとの説明がありました。

主な質疑応答。

問) 町道殿山線を拡幅して開発後の、土地価格はどれくらいを考えているのか。また、何区画を考えているのか。答) 坪10万円程度を考えています。おおよそ70区画を考えています。

問) 山之上地区の全体事業費はどれぐらいか。答) インフラ等を除き、おおよそ4億円ぐらいではないかと考えています。

以上、地域活性化特別委員会報告とします。

○議長(小森重剛) ただいまの地域活性化特別委員会委員長報告に対して、質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長(小森重剛) ないようでありますので、地域活性化特別委員会委員長報告はこれで終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

### 日程第15 人口減少対策特別委員会委員長報告

○議長(小森重剛) 日程第15 人口減少対策特別委員会委員長報告を議題といたします。

人口減少対策特別委員会委員長、森島芳男議員。

4番、森島芳男議員。

○人口減少対策特別委員会委員長(森島芳男) 人口減少対策特別委員会報告。

平成28年3月24日

委員長 森島 芳男

本委員会は、2月17日午前9時より委員1名欠席のもと、町執行部より竹山町長、図司政策推進課長及び担当職員の出席を求め、所管事務調査を行いました。

調査内容。竜王町人口ビジョンについて。初めての委員会であり、今後調査活動をしていくため、竜王町の人口の状況について説明を受けました。

本町の人口の推移は、昭和30年から昭和45年までは減少傾向にあったが、昭和50年から平成7年にかけては一転して増加傾向となり、昭和53年には1万人を突破した。

この要因としては、高度経済成長期と相まって、本町に複数の企業が操業を開始、また、事業拡大を図ったことが挙げられる。あわせて、これらの時期に町内住宅団地が自治区を形成している。

しかしながら、平成7年の1万3,644人をピークに、微減ながら減少傾向となり、今日に至っている。平成22年には大型商業施設、平成23年には庁舎周辺整備で複合商業施設も開業したが、人口増には至っていない。

人口動態は、出生・死亡の自然動態ではこれまで平均化していたが、平成25年に死亡が出生を上回り、今後こうした傾向となることが予想される。また、社

会動態では転出が転入を上回る状況となっている。

有配偶率は、男性は県平均より低く、女性は県平均より高くなっており、男性が未婚化傾向にある。

労働力率の推移は、男性は全国平均を上回っているが、女性は30歳から34歳では全国平均を下回るとともに、典型的なM字型となっており、ワークライフバランスへの課題が伺える。

人口ビジョンは、45年後の2060年（平成72年）までを対象期間としており、今後新たな人口減少対策をとらない場合、2060年（平成72年）には約7,200人、現在の約6割まで減少すると想定されるとの説明を受けました。

主な質疑応答。

問）人口増へは人を流入させることも必要だが、若者が出ていく。各地域の風習やしきたりが要因である場合も少なくないのではないか。流出を防ぐ対策が必要ではないか。答）このままでは地域がもちこたえられなくなるという反面、新しい人は入ってきてほしくないといった声も聞く。地域やそこに住んでいる人の意識改革も必要ではないかと考えます。

問）子育ての面から、通学距離が長くなると居住されないと聞いたことも聞くがどうか。答）不動産業者やハウスメーカーからも、通学距離や通学環境は住宅地を選ぶ重要な点になっていると聞いています。

次に、本委員会は、3月16日午後1時より、委員全員出席のもと所管事務調査を行いました。委員会として、今後の具体的な研究・調査活動のあり方について協議・討論しました。

討論等の内容は次のとおりです。

人口減少の要因は徹底的に追究することが必要ではないか。

人口1万4,000人の目標はあるが、まず減少を食いとめる具体的方策が要るのではないか。

自然動態による増減は一定バランスはある。本町は、企業の動向に左右されることが多いが、企業の動向はどうにもならない。ほかに要因があるはずである。そこは突きとめる必要がある。

ある区では来年度地域コミュニティ計画を策定する。この間、16年間の地域の人口推移などを分析している。各地域でそうしたことができれば、それぞれの地域の状況による人口の増減要因なども見えてくるのではないか。

分家ができない。法的に家が建てられない。以前から言われている最も重要な

課題である。法的なものについては、行政としてやるべきことであるし、地域コミュニティ的なものは地域住民が主体的に考えていく必要がある。

人口がふえることは考えられない。流出を阻止することに特化して調査・研究すればどうか。

人口減少に歯どめをかける議論をすればするほど、広範な分野に及びさまざまな課題も出てくる。町の人口ビジョンやまち・ひと・しごと創生総合戦略と照らしながら課題ごとに担当課の具体的な対策や考え方を聞いたらどうか。担当課で具体的にどう考えているか、調査研究することも必要。

各課、各職員がどう受けとめているか。課題を共有し、ベクトルがあっているかは検証が必要。

現状把握と課題の検証が必要。「見える化」していくことが必要。など多くの討論がありました。

人口減少に歯どめをかけ、1万4,000人を目指す到達目標への具体策、それへのプロセスやアプローチを明確にしていくとともに、委員会としても調査・研究を行うこととし、当面、各課が具体的にどのように考えているのかを中心に調査活動を行うこととしました。

以上、人口減少対策特別委員会報告とします。

○議長（小森重剛） ただいまの人口減少対策特別委員会委員長報告に対して、質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、人口減少対策特別委員会委員長報告はこれで終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第 16 所管事務調査報告

（議会運営委員会委員長報告）

（総務産業建設常任委員会委員長報告）

（教育民生常任委員会委員長報告）

○議長（小森重剛） 日程第16 所管事務調査報告を議題といたします。

各委員長より報告を求めます。

議会運営委員会委員長、菱田三男議員。

9番、菱田三男議員。

○議会運営委員会委員長（菱田三男） 議会運営委員会報告。

平成28年3月24日

委員長 菱田 三男

本委員会は、2月5日午前9時より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より竹山町長、杼木総務主監、奥総務課長、ほか担当職員の出席を求め、平成28年第1回臨時会の提案事件について説明を受けました。

平成28年第1回臨時会に提案される案件は、専決処分1件、町有地に関する財産の交換1件の計2件です。同議事の進行について審議し、会議録署名議員の指名、会期を2月9日の1日限りとすること及び議案の処理について審査決定しました。

続いて、本委員会は、平成28年第1回定例会及び第2回定例会の日程について協議しました。

続いて、本委員会は、陳情の処理について協議し、「軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情」の取り扱いについては、議員全員に依頼文の写しを配付し周知を図ることにとどめ、意見書の提出は今回見送ることに決定しました。

次に、本委員会は、2月23日午前9時より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より竹山町長、杼木総務主監、奥総務課長、他担当職員の出席を求め、平成28年第1回定例会の提案事件について説明を受けました。

今回提案される案件は、条例関係15件、補正予算7件、新年度予算8件、町道路線認定1件の計31件です。同議事の進行について審議し、会議録署名議員の指名、会期を3月1日から3月24日の24日間とすること及び議案の処理について審査決定しました。

なお、平成28年度竜王町予算については特別委員会を設置し、一般会計予算を予算第1特別委員会、特別会計及び水道事業会計予算7件を予算第2特別委員会において審査することを決定しました。

また、本会議第3日に委員長報告を行い採決することとした竜王町課設置条例等の一部を改正する条例の採決の結果を受けて、本会議最終日に当委員会より竜王町議会委員会条例の一部を改正する条例を提出することに決定しました。

次に本委員会は、3月3日午前9時より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、平成28年第1回定例会第4日の一般質問、11議員1

9 質問について、会議の再開時間及び質問の順序等について審査決定しました。

第 4 日の会議は午前 9 時に再開し、会議は通しで行い、会議時間の延長もあり得ること及び質問の順序は質問通告書の提出順序とすることに決定しました。

続いて、請願書 2 件が提出されたことを受け、「T P P（環太平洋連携協定）交渉に関する意見書を求める請願」及び「谷村川支流の改修に関する請願」の議案処理について審議し、総務産業建設常任委員会に審査を付託することに決定しました。

次に、本委員会は、本日午前 8 時 3 0 分より第 1 委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より追加提出のあった補正予算 1 件の議案の処理について審議しました。また、総務産業建設常任委員会より提出のあった「T P P（環太平洋連携協定）交渉に関する意見書」の処理について審議し、本日の本会議に提出することを決定しました。

以上、議会運営委員会報告といたします。

○議長（小森重剛） 次に、総務産業建設常任委員会委員長、古株克彦議員。

8 番、古株克彦議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（古株克彦） 総務産業建設常任委員会所管事務調査報告

平成 2 8 年 3 月 2 4 日

委員長 古株 克彦

本委員会は、農商工連携による加工品開発や 6 次産業化について調査・研究するため、去る 2 月 1 9 日に委員 6 名、事務局と産業振興課の職員それぞれ 1 名の参加のもと、愛媛県内子町道の駅「内子フレッシュパークからり」を訪れました。

研修では、当道の駅の概要について大本社長より説明を受けました。

内子フレッシュパークからりの特徴。平成 2 7 年に国土交通省の全国モデル道の駅に選定された。指定管理料を受けないで、収支の取れる法人を目指してきた。出資者は町が 5 0 %、残りを町内生産者の個人株主が保有し、経営参画意識が高い。地元の農家の女性たちが中心となり、販売額は約 7 億円、町の農産生産額の 1 5 % を占め、新たな雇用を生み出している。

内子町産へのこだわり。出荷物は、内子町の住民が内子町内で栽培した生産物のみ出荷可能。

トレーサビリティの導入。品質監査委員による売り場巡回の実施など、農産物の安全性への取り組みを徹底している。自然の景観を生かした施設をつくり、他

の直売所との差別化を図っている。観光協会とも連携し、年間70万人以上の来場者がある。イベント委員会では、毎月1回、年12回のイベントの企画を立て、リピーターの創出に力を入れている。

主な質疑応答。

問) ブランド化成功の秘訣は何か。答) 特別にブランド化を意識したことはない。地元産にこだわり、ほかにない特産品の開発、からりの農産物は安全であるというイメージを持ってもらえるように、品質管理の徹底などに努めている。生産者が一生懸命やったことが成果につながっている。

問) 全国モデル道の駅に選定されたことの効果は何か。答) 1つは、知名度がアップしたこと。マスコミの力を活用して、町の名前を発信することは大切だと考える。

感想。松山市内から車で約40分の山奥という立地でありながら、これだけの取り組みをされていることに感心した。当地は、以前はたばこ栽培が盛んな場所であったようである。土地そのものが痩せていて、これといった特産品が少ない中で、年間70万人以上の来場者を呼び込んでいる努力は並大抵ではないと感じた。今後、運営面や指定管理のあり方、観光と農業の重点をどちらに置くか等、研究すべき課題を学んできました。

委員会は、3月7日の午前9時より第1委員会室において、委員全員出席のもと、竹山町長、川部副町長、桴木総務主監、関係課長等の職員の出席を求め、所管事務調査を行いました。

所管事務調査1、竜王町防災情報システムの整備について。平成22年有線放送の地域情報システム研究会から、町長に提言書を受けた。その後、23年度に有識者を交えての検討委員会を設置し、県外視察等を重ね、竜王町にふさわしいシステムを模索してきた。その間、25年度には、全国瞬時警報システム(J-ALERT)の工事に着手し、26年度に運用を開始して、有線放送の屋外トランペット、屋内スピーカーへ接続した。28年度には、これまで検討委員会で行った3つのシステムの比較検討の結果、地域振興波を活用した地域コミュニティ無線の基本設計業務を実施するとの説明を受けた。

問) 地域コミュニティ無線を採用するメリットは何か。答) 混信のない専用波を利用し、比較的安価なシステム構築が可能である。町からの緊急放送の発信を初め、自治会ごとに地域行事の周知・連絡がとれ、現在有線放送の利用と似通った使い方が可能である。

2、ふるさと納税について。竜王町未来につなぐふるさと交電寄附推進事業の28年2月末現在の報告を受けた。寄附件数は2,701件、寄附額は9,426万4,500円である。

以上、総務産業建設常任委員会所管事務調査報告といたします。

○議長（小森重剛） 次に、教育民生常任委員会委員長、山田義明議員。

10番、山田義明議員。

○教育民生常任委員会委員長（山田義明） 教育民生常任委員会所管事務調査報告。

平成28年3月24日

委員長 山田 義明

本委員会は、去る1月15日、委員全員と事務局1名、並びに執行部より岡谷教育長、清水学務課課長補佐、廣田英語指導員の参加のもと、岐阜県多治見市立笠原小学校と笠原中学校を訪問し、「笠原型コンテンツ・ベイスト」の手法を中心とした効果的な小中連携の英語教育について視察し、調査研究を行いました。

まず、往路の車中において清水課長補佐より、竜王町における英語教育推進に係る本町の取り組みや整備について説明を受け研修に臨みました。

笠原小学校では、笠原小・中学校の取り組みについて、教務主任より次のような説明を受けました。

「笠原型コンテンツ・ベイスト」とは、他の教科とかかわりを持たせながら、伝え合う内容を重視し、問題解決的な活動により、伝え合う必然性を生み出す指導方法で、英語というツールを使って友達や先生、あるいは国際交流で外国の人とかかわり合うことが楽しい、心地いいと思えるような学習を仕組んできた。

笠原校区の英語教育は、平成14年に保幼小中一貫教育がスタートし、平成15年から文科省の英語教育研究開発学校となり、連続13年目である。

研究課題は、小学校第1学年から英語科を開設した場合における、中学校の教育課程も含めた9年間を通じた系統的な教育課程で、指導方法並びに評価方法のあり方についての研究を進めてきた。

クラスで支援の必要な子に対しては、担任などは常に留意しているが、仲間同士でかかわるようにしているので子供たちの人間関係ができ、そのことが学級活動を高めることにつながっている。

英語教育の出発は、当時の校長の「一人で海外旅行に行ける」がスローガン。文法重視ではなく、ホームステイなどの体験重視などでもない、その中間的なもので、英語教科に特化せず、あらゆる教科に英語をツールとして興味をもたせる

ことが継続されてきた要因ではないかと考えられている。

説明を受けた主な内容は以上のとおりです。

委員の主な感想や意見は、小中学校ともに、授業時間中はほとんど英語のみでコミュニケーションをとっていたのには感心した。聞く・話す・読む・書くはどれも大切であるが、将来、人とコミュニケーションをとる上において、まずは、聞く・話すが大切と思われた。

小中学校に加え、幼稚園・保育所においても英語教育が週に1時間行われていることにも感心した。早ければ早いほど身につくことも早いように思われる。竜王町においても幼稚園・保育所に取り入れてはどうか。

これからの国際社会において必要とされるコミュニケーションの能力を育成するため、小学校1年から英語教育を始めたとのこと。このような努力の結果、英語の授業が好きだと答えだと子供が76.6%にもなるのであろう。

草津市では、ICT機器を活用して、来年度から海外と小学校の教室をつないでオンラインで英語授業を始められるということだが、竜王町でも検討してもらいたい等でありました。

本町の英語教育推進については、文科省の指定を受け、取り組まれています。特にICT機器の整備による授業の改善は、やがて到来するであろうグローバル社会と正面から向き合う子供たちのためにも、より充実されることを期待します。

次に、本委員会は、3月8日午前9時より、第1委員会室において委員全員の出席のもと、執行部より竹山町長、桴木総務主監、木戸発達支援課長、ほか担当職員の出席を求め、発達支援課の業務内容について所管事務調査を行いました。

執行部より説明があった主な内容は次のとおりです。

「発達障害」とは、生まれつきの脳の働きの違いにより、物事のとらえ方や行動パターンに特徴がある状態を言い、発達障害が社会に知られるようになりました。

また、発達障害の特性として、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、ASD（自閉症スペクトラム障害）などにより、自信喪失や周囲への不信から不登校・対人恐怖へとなっていくことや、発達障害への対応がおくれたために、二次障害として別の問題に発展することもある。不登校やひきこもりへの支援については、本人に出会うのに5年もかかったという事例もあるなど個人差が大きいいため、期間にこだわらず、焦らず、緩やかな支援を基本姿勢としています。

平成10年度「心の相談員」「オアシス相談員」の配置から始まり、さまざまな教室、支援室などの設置を経て、今日、乳幼児期から学齢期、さらには成人に至るまでの生涯を通じての切れ目のない支援を行うため、発達支援課「ふれあい相談発達支援センター」として、平成26年度よりスタートした。

発達支援センターは、発達障害を初めとした支援の必要な児童などに、発達段階、年齢や生活状況などに応じた支援を行い、その領域は保健、福祉、医療、教育、就労などにまで及んでいる。

主な質疑応答でございます。

問) 町内の発達支援の対象者はおよそ何人なのか。答) 対象者は150人です。

問) 発達障害の対応がおくれることにより二次障害を招く場合があるとのことだが、対応がおくれるのはどういう場合か。答) 療育を受けていただくときなど保護者の了解が必要だが、保護者が「障害」という言葉に戸惑い、なかなか受け入れられない場合などです。

以上、教育民生常任委員会報告といたします。

○議長（小森重剛） ただいま、各常任委員会委員長よりそれぞれ報告がございました。

この際、一括して委員長報告に対しての質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、各常任委員会委員長報告はこれで終結いたします。

この際、申し上げます。午後3時30分まで暫時休憩いたします。

休憩 午後3時19分

再開 午後3時30分

○議長（小森重剛） 休憩前に引き続き会議を開きます。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第17 議員派遣について

**○議長（小森重剛）** 日程第17 議員派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。会議規則第126条の規定により、お手元に配付のとおり議員を派遣することにいたしたいと思っております。なお、緊急を要する場合は、議長においてこれを決定いたしたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** 異議なしと認めます。よって、本件はそのように決定いたし

たいと思います。なお、派遣された議員は、派遣の結果を議長まで報告していただくようお願いいたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第 18 委員会の閉会中の継続審査の申出について

○議長（小森重剛） 日程第 18 委員会の閉会中の継続審査の申出についてを議題といたします。

総務産業建設常任委員会委員長から、目下委員会において審査中の事件について、会議規則第 75 条の規定によって、お手元に配付いたしました申出書のとおり、閉会中の継続審査の申し出があります。

お諮りいたします。総務産業建設常任委員会委員長から申し出のとおり、閉会中の継続審査とすることに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（小森重剛） 異議なしと認めます。よって、本件は総務産業建設常任委員会委員長から申し出のとおり、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### **日程第 19 委員会の閉会中の継続調査の申出について**

**○議長（小森重剛）** 日程第 19 委員会の閉会中の継続調査の申出についてを議題といたします。

各委員長から、会議規則第 75 条の規定によって、お手元に配付いたしましたとおり、閉会中の所管事務調査等の継続調査の申し出があります。

お諮りいたします。各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** 御異議なしと認めます。よって、本件は各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

以上で本日の議事日程は全部終了いたしました。

ここで、副町長より発言の申し出がございますので、これを認めることにいたします。

川部副町長。

**○副町長（川部治夫）** 議会閉会前に、小森議長様には、発言の機会を与えていただきましたことにお礼を申し上げます。

今議会、長期間にわたりまして提案させていただきました議案、全て御承認い

いただきまして、ありがとうございました。

さて、私ごとではありますが、竹山町長様から副町長に御指名をいただき、平成25年竜王町議会第1回定例会におきまして選任同意を賜り、3月18日に就任させていただき、今般、4年目に入らせていただいたところではありますが、今般、私自身が思うところがあって、本日をもって副町長の職を辞する届けを、本日竹山町長様へ提出させていただき、受理をいただいたところでもあります。

私は、副町長としては、竹山町長様にお仕えさせていただき、3年間ではありましたが、その間、私自身十分なお支えができなかったのではないかと反省いたしておりますが、自分なりに竹山町長様と一緒に多くの事務事業の推進、課題解決に当たらせていただいたことを、光栄に存じますとともに誇りでありました。

これまで御愛顧いただきました竹山町長様の、謹厳実直で広い分野にわたって豊富な知識をもって私にお教えいただきましたことを、これからの私の人生の糧として生かさせていただきます。

また、議会議員皆様方には、昨年の町議会議員選挙で新たに就任されました議員様を初め、大変お世話になりました。ありがとうございました。

今後は、職責を離れることとなりますが、これまでの役場職員39年と、この3年間の副町長の経験を生かし、竜王町のまちづくりに貢献させていただく所存であります。

最後になりましたが、竹山町長様におかれましては、あとわずかではありますが、議員皆様方ともどもの御健康、御多幸を祈念させていただくとともに、この場をおかりいたしまして、町民皆様へこれまでのお礼と感謝を申し上げさせていただき、退任に当たっての御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

小森議長様、貴重な時間、私の発言の時間をいただきましたことにお礼を申し上げます。ありがとうございました。

**○議長（小森重剛）** この際、町長より発言の申し出がございますので、これを認めることにいたします。

竹山町長。

**○町長（竹山秀雄）** 平成28年第1回竜王町議会定例会の閉会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

議員各位には、提案させていただきました32件の議案に対しまして、連日慎重かつ熱心に御審議を賜り、本日全ての議案を可決、お認めを賜りましたことに、

まずもって心より厚く御礼を申し上げます。

また、それぞれの委員会、本会議、さらには一般質問にて、御意見や建設的な御提言を頂戴いたしました。御意見や御高見は、全て本町のまちづくりにとって欠かせられない内容のものばかりであり、真摯に受けとめさせていただき、今後の行政経営に生かしてまいらねばならないと、心を新たにいたしているところでございます。

開会の御挨拶でも触れさせていただきましたが、年明けて1月27日に本町の2つの道の駅が、全国1,079駅の中から重点道の駅に選定されて以後、定例会会期中の3月10日に道の駅の大会が大阪にて開催され、本町の道の駅と大学連携の事例発表を滋賀短期大学が担当されたこととあわせ、大会に参加いたしてまいりました。会場にはたくさんのお客様が来られ、滋賀短期大学との連携で考案した新商品「近江牛丼丸」を展示したところでありますが、注目が集まり、たくさんのお客様を、お買い求めいただいたところでございました。

一般質問にてもお答えいたしました。与えられた機会には積極的に参加することはもちろん、みずからそのような場を見つけていくくらいの前向きな姿勢が求められており、このことが地方創生につながっていくものと思っております。

滋賀短期大学の清水先生の発表の中で、「直接の現場でお客様と接し、対話の中から実社会に役立つものを体得し、自分自身が学びの場を感じ取っています。特に道の駅は、国内の各地からのお客様が立ち寄られるので、大学のイメージも大切にしなければと思っています」と、ふるさと思いの御発言でございました。滋賀短期大学とは、この後も連携を続けてまいります。

続いて、3月17日には、東近江行政組合近江八幡消防署竜王出張所の竣工式がとり行われました。待ち望んでいた、本町内に常備消防が誕生したわけであり。建屋の色合いも落ちついておりますし、壁面には狩野山楽の筆なる龍虎図屏風が模写された形で描かれていたことが、竜王町に御配慮いただいたのことであり、感謝をいたしております。

町の皆様にも、気軽に龍の絵を見に行ってくださいと思っておりますし、竜王出張所が私たちの身近な存在となり、安全で安心な毎日の暮らしを約束する施設であってほしいと願っております。

中でも、本町の女性消防隊の小型軽可搬ポンプ操法は見事でありました。竜王出張所の門出にふさわしい、心に焼きつくぐらいの操法であり、私自身、昨年度の全国大会出場の場面を思い出したぐらいでありました。女性消防隊の皆様、大

変御苦労さまでございました。

平成28年度の竜王町消防団のポンプ操法大会は、ここ竜王出張所にて開催の予定でございます。竣工式には、議員の皆様方にも御臨席をいただき、まことにありがとうございます。

3月中旬からは、竜王中学校、竜王小学校・竜王西小学校、並びに幼稚園、保育園の卒業・卒園式が続きました。出席させていただくたびに、自分の子供のころと重ね合わせ、竜王町が悠久の歩みを続けてきたこと、そして、今後も永遠のものであらねばならないと、希望に満ちた子供たちの元気な姿から再認識をいたしております。

いよいよ、来月からは新年度のスタートであります。本定例会でお認めを賜りました予算を、確実に執行してまいらねばなりません。当初予算編成において、本町の財政が硬直化を増し、差し迫った状態になってきていることは何度も申し上げておりましたが、予算執行が本町を持続可能とならしめる執行になること、このことが皆様にお伝えいたしたい今の私の思いであります。

いまだ多額の借金を抱え返済の続く本町であり、各施設の老朽化が進んでいることから、維持管理費の費用もかさみ、建てかえを必要とする施設も出つつあります。健全なる財政運用が求められるところであり、いつも申し上げておりますとおり、「入るを量りて出ざるを為す」の基本こそが本町の最も大切な行政経営の要点であると思っておりますので、議員の皆様には引き続き格段の御指導、御鞭撻を何とぞよろしくお願い申し上げます。

話を転じさせていただきますが、本日、川部副町長から退職願が提出されました。退職を申し出られた事由は、ただいま御本人が述べられたとおりであります。決心のほどがかたく、受理することにいたしました。明日より、差し当たっての間、副町長空席の執行体制となりますが、町の皆さんへのサービス低下や行政経営に支障なきように進めてまいりますので、議員各位におかれましても格段の御指導・御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

川部副町長には、3年間町政発展のため御尽力をいただいております。ここに、改めまして深甚の感謝と、心からの御礼を申し上げます。あわせまして、川部様のますますの御活躍を念じ上げ、贈る言葉とさせていただきます。どうも御苦労さまでございました。

暖かくなりますと、農家の皆様には忙しい農繁期を迎えられることとなります。おけが等のなきよう念じ上げさせていただくとともに、今、本町は交通事故ゼロ

の日が続き、この4月1日で丸1, 000日死亡事故なしということになります。1, 000日達成に向かって皆様には御協力をいただき、さらにはこの日数を延ばしていきたいと思っているところでございます。

議員の皆様方、町の皆様方の御健康、御多幸を衷心より祈念申し上げ、閉会の御挨拶とさせていただきます。まことにありがとうございます。

**○議長（小森重剛）** 閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

今期定例会は、去る3月1日に招集され、本日までの24日間にわたり開会いたしましたところ、議員各位におかれましては、連日にわたりまして御出席を賜り、会期中、平成28年度一般会計・特別会計予算や条例制定など数多くの重要な案件について、慎重に御審議をいただき大変御苦労さまでございました。また、執行部におかれましては、適切なる対応をしていただき、議事運営に御協力を賜り、ありがとうございます。議員各位、並びに執行部各位の御協力に対しまして厚く御礼を申し上げます。

執行部におかれましては、今定例会で各議員が述べられました意見や要望を十分尊重され、平成28年度の町政執行に反映するとともに、早急に具体的な取り組みを実行されますことをお願い申し上げます。

さて、竜王町第五次総合計画は、後期の5年間へ突入いたします。人口減少と超高齢化、そして財政の硬直化という極めて厳しい状況下での計画、具体的な実践が問われています。竜王町議会においても人口減少対策特別委員会を設置し、調査研究に着手するところです。

町に魅力があると人は集まります。魅力あるまちづくり、魅力ある地域づくりが今求められています。魅力の発掘と資源の活用にヒントがあると考えます。消滅可能性自治体とまで風評されましたが、そのことにとらわれることなく、そして時々の制度に振り回されない、従来の考えや他市町の事例にこだわらない本町独自の特色あるまちづくりを望むところです。

さまざまな厳しい課題を克服すべく、平成28年度予算が成立しました。人口減少・地方創生は大きなテーマではありますが、同時に、そのことは「地域再生」につながるものであります。ぜひとも、積極果敢に取り組まれることを期待いたします。

平成27年度も余すところわずかとなってまいりました。議員各位、並びに執行部各位におかれましては、新しい年度に向け、くれぐれも御自愛いただき、町政の振興発展のため、なお一層の御尽力をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、先ほど挨拶されました川部副町長、長年の行政生活、御苦労さまでございました。どうか、今後も体に御自愛をいただき、ますます御活躍を御祈念申し上げます。どうか、頑張ってください。

閉会に当たっての御挨拶とさせていただきます。

以上をもちまして、平成28年第1回竜王町議会定例会を閉会いたします。

大変御苦労さまでございました。

閉会 午後3時51分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

竜王町議会議長 小 森 重 剛

議会議員 松 浦 博

議会議員 古 株 克 彦